

グランパスサステナビリティレポート

# GRAMPUS SUSTAINABILITY REPORT

2025



NAGOYA  GRAMPUS



# THEME

名古屋グランパス 3つのテーマ

日常にもっと幸せがあふれる名古屋・愛知の未来に  
3つの夢を描いています

for the  
**EARTH**

地球のために

グランパス  
気候チャレンジ

いつまでも豊かに  
生き続けられる星に

気候変動によりサッカー環境が危機に直面。名古屋・愛知から持続可能な未来を世界へ広げたい。

for the  
**TOWN**

この街のために

グランパス  
まちづくりアクション

一人一人が誇りに思い  
魅力ある街に

多様な人々と尊重し合いながら支え合い、誰もが活躍できる共生社会の実現を目指します。

for the  
**FAMILY**

人々のために

グランパス  
インクルーシブ

誰もが生き生きと  
暮らせる社会に

行政や地域と連携し、商店街支援や防災を通じて魅力あるまちづくりを進めます。



— なぜサステナブルに取り組むのか —

私たちにとってかけがえのない  
ホームタウンのために

私たちは、Jリーグ創設期から「地域に根ざしたクラブ」として、名古屋・愛知の皆さまと共に歩んできました。オリジナル10の一員として積み重ねてきた30年余り5つのタイトルを獲得した喜びも、J2降格という悔しさも経験しましたが、どんな時もこの街の皆さまに支えていただきました。

一方で、社会はめまぐるしく変化しています。環境問題、人口構造の変化、多様性の尊重。いま、スポーツが貢献できるフィールドは確実に広がり、その価値と可能性を見出していくことが、私たちに求められています。

活動していくことが、支えていただいている地域の皆さまに私たちが還元できることではないかと考えています。

この先の未来も、名古屋・愛知の皆さまと共に歩みを進めていくために。そして、かけがえのないこのホームタウンのために。そんな想いのもと、私たちは「GRAMPUS DREAM」という旗を掲げました。

地球のために。この街のために。そして、そこで暮らす人々のために。

これは決してクラブだけでは成し得ることはできません。ファン・サポーターの皆さま、自治体の皆さま、パートナー企業の皆さま——多くの方々を取り合い、その輪を広げていきたいと思っています。

日々の暮らしに笑顔があふれ、この街がもっと好きになり、日常に彩りが加わる。その積み重ねが、名古屋・愛知を次の世代へ誇りを持ってつなげていく力になると信じています。

名古屋グランパスは、これからも日常に寄り添い、スポーツの力で社会に寄与してまいります。「GRAMPUS DREAM」で一緒にこの街を笑顔にしていましょ

う。より一層のご声援とご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。



株式会社名古屋グランパスエイト  
代表取締役社長

清水克洋



名古屋・愛知のサッカーと子どもたちの未来を守るために、気候変動に取り組みます

● OUR GOAL

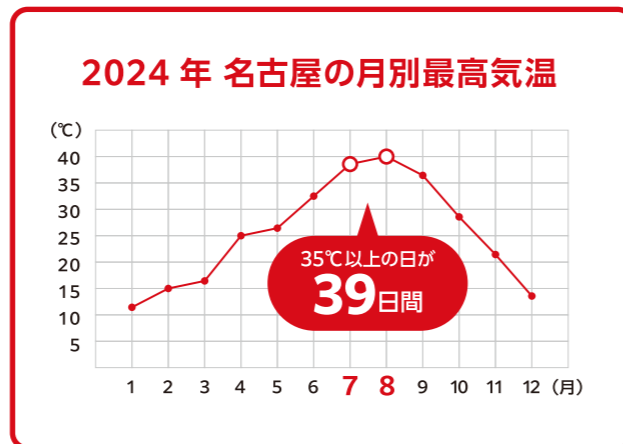
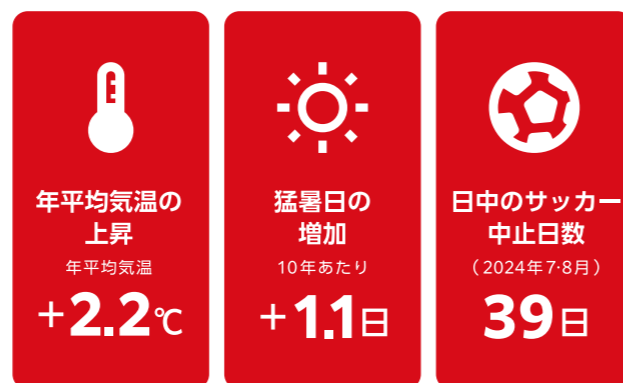
ホームタウンと地球の未来のために

次世代の地球環境にとって喫緊の課題となる「気候変動」今まさにサッカーの未来が失われかねない状況が訪れようとしています。スタジアムでは酷暑の中での試合観戦が余儀なくされ、異常気象による試合の延期、そして愛知の夏は日中に月の半分以上がサッカーができない状況となっています。(環境省HPより、WBGTにてクラブで算出)

このままだと、名古屋・愛知のサッカーがなくなってしまう。サッカーを楽しみたいと思う子どもたちが減ってしまう。サッカーを通じて夢や楽しみを持ち続けてもらう子どもたちの未来を守るために、名古屋グランパスは「気候変動」の課題に取り組みます。



荒天による試合中止時のスタジアム



「グランパス気候チャレンジ」でホームゲームの気候変動対策に取り組みます

名古屋グランパスは1992年クラブ発足以降、ホームタウンの皆さまと歩を進めてきました。これからの未来も共に歩を進めていくにあたり喫緊の課題となる「気候変動」名古屋・愛知から持続可能な未来を創り、その輪を日本中へ、そして世界へ広げていきたいと考えています。サポーターとパートナー企業の皆様と一緒に名古屋・愛知の未来を守ります。



2024 シーズン 名古屋グランパス主催 全ホームゲームでのCO2 排出量算定結果



[合計] 8,309 トンCO2 ©N.G.E

ホームゲーム開催でスタジアム内外で排出されるCO2削減から始めています

ホームゲームでは、燃料や電力の使用、ごみの廃棄、さらにはスタジアムへの移動など様々な場面でCO2が排出されています。カーボンニュートラルを目指し、CO2削減のために、みんなのできることを考え、現実的かつプラクティカルに、今すぐ実践できるアクションから始めます。



## グランパス気候チャレンジ

いつまでも豊かに生き続けられる星に

未来を目指すパートナーと共に

グランパスは行動しています

### GRAMPUS CARBON NEUTRAL ACTION with TOYOTA

#### トヨタ自動車との連携！グランパスカーボンニュートラルアクション with TOYOTA アツい NAGOYA からサッカーの未来を守れ。

昨今の夏は暑い。このアツい街から、サッカーを未来へつなぐために。それ以上に、NAGOYAの人々のサッカーへの想いは熱い。気候変動やカーボンニュートラルについて、学び、話し合い、そして行動します。

#### プロジェクトWebページでアクションを紹介

カーボンニュートラルの実現に向け、CO2削減につながる今すぐ実践できるアクションを実施しています。

#### CO2 排出量を知ろう

選手も CO2 排出を意識しています。



#### 選手と一緒に始めよう

楽しみながら学べる動画を配信中。

#### ○×シュートチャレンジ!!

カーボンニュートラル問題に ○× シュートでチャレンジ



#### 2 択チェック!!

カーボンニュートラルのアクションができているかチェック



## 「サステナソシオプロジェクト / グランパスカーボンニュートラルアクション with TOYOTA」レポート



グランパスファミリーと共にグランパスの未来を創る「GRAMPUS SOCIO PROJECT」。その第5弾となる「サステナソシオプロジェクト/グランパスカーボンニュートラルアクションwith TOYOTA」が、2025年8月10日に豊田スタジアムで開催されました。約30名のグランパスファミリーが参加しました。豊田スタジアムでの恒例となっている「スタジアムツアー」。普段は入ることのできない記者会見室や入場前の選手集合エリアを見学。選手撮影で使うスポンサーバナーの前で参加者も記念写真を撮っていました。



第1部はカーボンニュートラルの意義を理解する時間。TOYOTAの全国小学校での出張授業「トヨタ未来スクール」のカリキュラムからカードゲームを実施。

第2部はメンバー同士の対話で「カーボンニュートラルを実現するアイデアを考える」時間。25年後、カーボンニュートラルを実現するスタジアムを考えました。

#### 参加者コメント

##### シュンくん (息子・4年生)

難しかったけど楽しかったです。ごみを燃やすとCO2が出るので、なるべく燃やさないようにできたらいいな。

##### ケイタロウさん (父・30代)

まずは生活において電気を使い過ぎないことも大事ですが、将来的に今の仕事で社会に還元できればいいな。

##### HIRO さん (男性・40代)

職場でもカーボンニュートラルに取り組んでいて、サッカークラブでの取り組みに興味があって参加しました。



#### 上井 雄太 さん (株式会社フューチャーセッションズ / 株式会社 shikakeru CEO)

難しいテーマでしたが、皆さんの高い熱量と共に、グランパスならではの「サステナソシオ」という共創の場で一緒に未来を描けて光栄でした。グランパスを中心に、ここからどんな新しい価値を生み出しているのか、今後の展開が非常に楽しみです。

#### 中部電力ミライズのサステナEXPOブース

2025年9月20日豊田スタジアムで開催の「グランパスサステナEXPO ～サッカーがつなぐ未来～」において、豊田市駅前コムスクエア広場での公共交通機関利用促進施策を実施。中部電力ミライズと連携し「移動も応援の一部」として電車来場のアンケートと啓発を行い、サステナブルなスタジアム来場スタイルの浸透を図りました。



## クラブ史上初、サステナブルな取り組みを集約した 試合連動イベント「サステナEXPO」を開催！

「サッカーがつなぐ未来」をテーマに、サステナブルな体験型イベントを展開。

2025年9月20日、明治安田J1リーグ第30節 湘南ベルマーレ戦にあわせ、豊田スタジアム東西イベント広場にて、クラブ史上初となる「グランパスサステナEXPO ～サッカーがつなぐ未来～」を開催。気候変動への対応や共生社会の実現をテーマに、4つのパビリオンを展開。スタジアムを訪れる皆さまに、サステナブルな取り組みを楽しみながら身近に感じていただく機会を創出しました。



### パビリオン 01



### 気候アクション パビリオン

トヨタ自動車との連携で燃料電池車からの給電デモや、水素グリラーを使ったマッシュルーム焼き体験を実施。多くの方に環境配慮型の取り組みを体感していただきました。

### パビリオン 02



### モビリティ パビリオン

クラウンFCEVや水素エンジン搭載GRカローラ、MIRAIなど次世代車両を展示。



### パビリオン 03



### サステナライフ パビリオン

東海ろうきんと連携で金融教育やトヨタ自動車の技能五輪紹介で学びを提供し、絵本リユース、アップサイクル商品の展示販売を行い、日常生活の中でできる「サステナな選択」を提案しました。

### パビリオン 04



### 共生社会パビリオン

国際交流サッカーや障がい者サッカーの体験、多様な仲間とともに楽しむサッカーの魅力を感じてもらいました。

### ゲストに阿部翔平さん来場

ゲストの阿部翔平さん  
モリゾー&キッコロも登場。  
試合前のキックインセレモニーでも  
会場を大いに盛り上げました！



阿部 翔平さん  
(グランパスサステナビゲーター / Jリーグ気候アクションアンバサダー)

サステナEXPOを通じて、多くの発見や学びがありました。グランパスサステナビゲーターとして、今できることを皆さんと一緒に考え、行動していくことで、一人ひとりの意識が未来を変えていくと感じています。ぜひ一緒に歩いていきましょう。



### アクティビティ



### クイズラリー抽選会

会場内を巡る「サステナEXPO クイズラリー」スタンプを集めて選手サイン入りグッズなどの豪華賞品が当たる抽選会が行われ、多くのファミリーが参加していただきました。

## グランパスOBの阿部翔平さんが名古屋市内の 小学校で「Jリーグ環境教育授業」を初開催！

2025年12月3日（水）、名古屋市立西味鏡小学校にて、Jリーグ気候アクションアンバサダーの阿部翔平さんが5・6年生約100名を対象に「Jリーグ環境教育授業」を実施しました。サッカーと環境をつなげて考える学びを通じて、子どもたちが「明日からできる小さなアクション」を見つけられる時間となりました。

### Jリーグ環境教育授業の様子

5・6年生を対象に、気候変動がサッカーに与える影響、そして名古屋グランパスが進める環境への取り組みを分かりやすく紹介。阿部さんが各グループをまわりながら、子供たちに丁寧に耳を傾けながら「その視点も大事だよ」と穏やかに肯定の言葉を返していく姿が印象的で、前向きな学びの時間となりました。



運動場で全校生徒に向けてキックパフォーマンスを披露。



授業後はクラスで給食をともにし、自然と会話が広がりました。



名古屋グランパスは、今後も地域の子どもたちへ環境学習の機会を広げ、次世代へ未来をつなぐアクションを続けていきます。

## グランパス気候チャレンジとその他の事例



### ● CHALLENGE 01 スタジアムでのフードドライブ活動

フードロスは食料の生産・輸送・廃棄で発生する温室効果ガスを無駄に増やし、気候変動を加速させています。フードドライブとは、ご家庭で必要がなくなった食品を持ち寄り、生活に困っている個人や福祉団体へ提供する社会貢献活動です。名古屋グランパスでは年6回のフードドライブ活動をスタジアムで実施いたしました。選手やアカデミー生もサポーターと一緒に活動に取り組みました。集めた食品は認定NPO法人セカンドハーベスト名古屋様を通じ、ホームタウンの子ども食堂などにお届けしました。



### ● CHALLENGE 02 グランパスファミリーでつなぐ絵本リユース

グランパスファミリー皆様のご家庭で読み終わった「絵本」を回収し、次の子育て世代につなぐ「絵本リユース」を9月22日の川崎F戦、9月28日の磐田戦、10月13日横浜FM戦、10月19日札幌戦にて実施しました。ボランティアブースにて回収した絵本は、来場者でご家庭にお子さまがいらっしゃる方には自由にお持ち帰りいただきました。絵本をリユースすることは、新たな製造や廃棄を減らし、資源消費とCO<sub>2</sub>排出を抑えることで気候問題の改善につながります。

※試合終了後、引き取り手のなかった絵本はご活用いただける団体に寄贈しました。



### ● CHALLENGE 03 エコステーションをホームゲームで設置

資源のリサイクルで焼却や資源採取によるCO<sub>2</sub>排出を減らせるためにホームゲーム開催日には、ゴミの分別やリサイクルの活動に取り組みました。毎試合スタジアムにエコステーションを設置し、ボランティア、パートナー企業と連携してゴミ分別を図りました。同時にこのブースではフードドライブと絵本リユースも行いました。

## Jリーグがアジア初となる

## Sport Positive Leagues 参画を決定

## Jリーグでサステナビリティ活動を推進



### スポーツで環境サステナビリティの取り組みを数値化

SPLは、サッカークラブの気候アクションを数値化し、その進捗や目指すべき方向性を一目で把握できる仕組み。2025年現在、イングランドプレミアリーグをはじめ、欧州の4つのプロサッカーリーグが参画しており、Jリーグは5番目、アジアでは初の参画となります。



クラブの気候アクションを12個の指標で可視化し、その結果をもとに順位づけする仕組み

1 <b>ポリシーコミットメント・レポート</b> CO <sub>2</sub> 削減の目標を定めて計画的に実施	7 <b>水の効率的な利用</b> 水を再利用する仕組みを作りムダな使用を減らす
2 <b>再生可能エネルギー</b> 環境に優しい発電方法を選択してCO <sub>2</sub> を削減	8 <b>プラントベース食品 / 低炭素食品</b> 森林伐採や輸送時のCO <sub>2</sub> 排出に配慮した食品を選ぶ
3 <b>エネルギー効率</b> 無駄な電力を使わない省エネ設備を選んでCO <sub>2</sub> を削減	9 <b>生物多様性</b> 動植物の住む自然を守りCO <sub>2</sub> を吸収する森林の仕組みを維持する
4 <b>環境負荷の少ない移動手段</b> ガソリンから出るCO <sub>2</sub> が少ない移動を選ぶ	10 <b>教育</b> グランパスファミリー全員が気候変動を学び、アクションを考える
5 <b>使い捨てプラスチック削減 / 廃止</b> プラスチックではなく、環境に優しい素材を選択する	11 <b>コミュニケーション</b> グランパスが実施した気候アクションを発信する
6 <b>ごみの削減 / 管理</b> ごみをリサイクルする仕組みを作り焼却時のCO <sub>2</sub> を減らす	12 <b>ごみ持続可能な調達 / 管理</b> CO <sub>2</sub> が少ない物を選択する

## Jリーグ 60クラブ対抗「サステナカップ」開催!

## あなたの気候アクションがグランパスを勝利へ導く!

### サステナカップ SUSTAINABLE CUP とは?

2025年5月31日～6月29日までの1ヶ月間、Jリーグ全60クラブが参加する"気候アクションのカップ戦「サステナカップ」"が開催されました。



開催を呼びかけるバナー





# グランパスインクルーシブ

誰もが生き生きと暮らせる社会に

## インクルーシブな社会へ

## 誰もがゴールを決められる優しさが支えるミライ

これまで子どもや外国人・外国ルーツの方、障がいのある方など、ホームタウンの多様な方々と連携してきました。そこで大切だったことはお互いに尊重し合い、認め合える優しい気持ちの交換でした。ますます多様化する社会の中で名古屋グランパスは誰もが優しいパスで支え合い、誰もがゴールを決められる共生社会を目指していきます。

### ● OUR VISION

#### わたしたちが目指すミライ

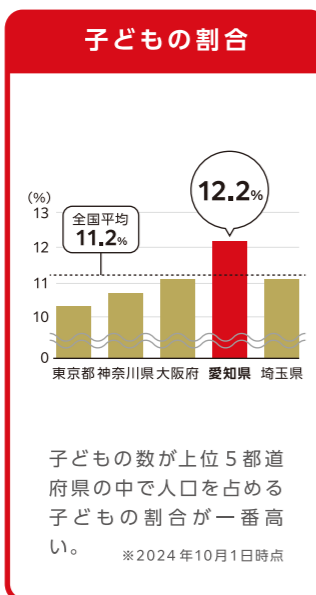
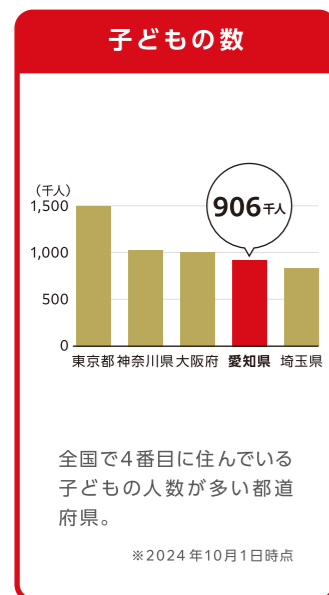
インクルーシブで優しい社会づくりのために、子どもたちに向けた活動や、外国人の皆さんとの連携を進めます。ホームタウンの皆さんと一緒に愛知・名古屋から共生社会をつくっていきます。



### 愛知県を取り巻く状況

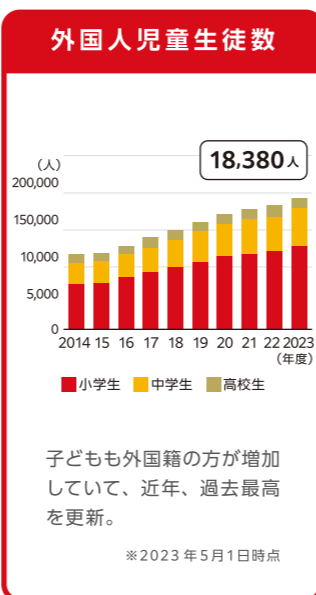
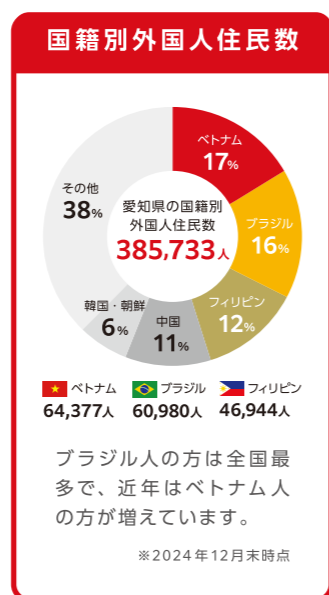
#### 【子どもが多く住むまち】

全国で4番目に住んでいる子どもの人数が多い都道府県



#### 【外国人が多く住むまち】

全国で3番目に多くの外国人が住む県



### ● PROJECT 01

#### SDGs アカデミー

#### 「在留ブラジルキッズ プロジェクト」

ブラジル人人口の多い豊田市にて、ブラジルにルーツを持つ子どもたちにサッカーを通じて様々な方とのコミュニケーションを図る場を提供し、将来の夢をもってイキイキと暮らせる社会を目指した取り組みです。



山家 ヤスエ さん (NPO 法人希望の光)

豊田市で育ったブラジルキッズの一人として、今はNPOとして協働者の立場からSDGsアカデミーの“つながる力”を実感しています。このスポーツの持つつながる力の広がりを期待します。

### ● PROJECT 02

#### 原山小学校グランパス DAY

#### 子どもたちの夢の応援プロジェクト

2026年3月に閉校を迎える瀬戸市立原山小学校。子どもたちの夢を応援するため、7月にはマスコットが、12月には椎橋選手・三國選手が来校し、子どもたちにとって忘れられない、特別な2日間となりました。



### ● OTHER CASE

#### その他事例



外国人スタジアム  
観戦無料ご招待





## グランパスまちづくりアクション

一人一人が誇りに思い魅力ある街に



名古屋グランパスがお届けする！

### 夏の一大イベント「鯨虎の大祭典」

名古屋グランパスがお届けする、夏の一大イベントです！



鯨虎の大祭典 地元連携／

### 「グランパス音頭めちゃんこ広め隊」

街やスタジアムが「グランパス音頭」でひとつになり、大きな盛り上がりを生みました。



プロスポーツは、ホームタウンが安心して安全に住み続けられる社会であってこそ成り立ちます。グランパスは、地域の魅力や価値を再発見できるような取り組みをはじめ、商店街と連携したサポートタウンや大規模災害への備えなどへの取り組みを推進します。行政や関係団体と連携し、試合会場で地域での活動を通じて、魅力あるまちづくりに寄与していきます。



### サポートタウンのご紹介

名古屋グランパスでは、愛知県商店街振興組合連合会とタッグを組み、地域・商店街を元気にするサポートタウン事業に取り組んでいます。現在、26団体がサポートタウンに加盟。グランパスイベントの開催などクラブとサポートタウンが協力して地域の活性化に取り組んでいます。

- |            |                  |               |
|------------|------------------|---------------|
| 1 今池商店街連合会 | 11 名古屋駅西銀座通商店街   | 21 一宮市本町商店街   |
| 2 東新商店街    | 12 堀田本町商店街       | 22 半田市商店街     |
| 3 藤が丘中央商店街 | 13 一柳通商店街        | 23 品野商店街      |
| 4 柳原通商店街   | 14 名古屋大須東仁王門通商店街 | 24 刈谷市南部商業展覧会 |
| 5 八事商店街    | 15 円頓寺本町商店街      | 25 安城市北明治商店街  |
| 6 瑞穂通商店街   | 16 円頓寺商店街        | 26 内田橋商店街     |
| 7 仲田本通商店街  | 17 桜山商店街         |               |
| 8 大須商店街連盟  | 18 笠寺観音商店街       |               |
| 9 日比野商店街   | 19 広小路名駅商店街      |               |
| 10 柴田商店街   | 20 広小路西通一丁目商店街   |               |



### 第41回有松絞りまつり「SHIBORI Tシャツお披露目」

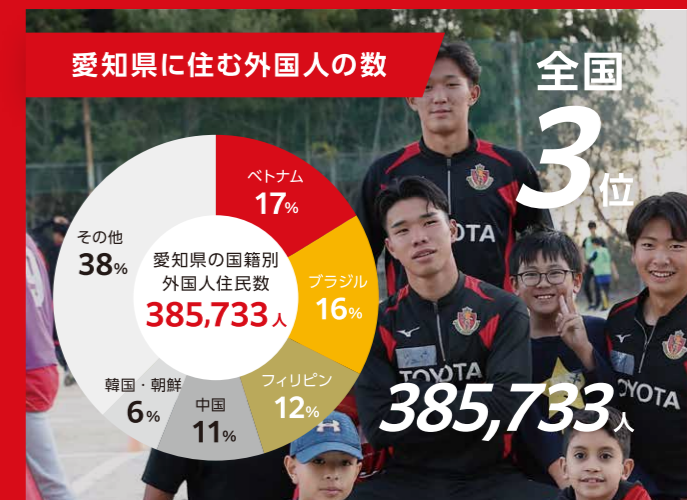
プロジェクトでは、「Wind of Nagoya」をテーマにTシャツ制作が進められ、グランパスの選手たちもデザイン選定に関わってきました。そのTシャツが完成し、2025年6月7日(土)・8日(日)に開催された第41回有松絞りまつりで披露されました。



データで見るグランパスとホームタウンを  
取り巻く環境と活動



※引用元: 統計局ホームページ / 統計トピックス No.145 / 都道府県





日常がスポーツでもっと幸せあふれる

名古屋・愛知を夢見て

私たちにとってかけがえのない  
ホームタウンのために  
よりよい夢と一緒に語り合い、  
描き、行動し、叶えていきましょう。

この先の未来も名古屋・愛知の皆さまと一緒に歩みを進めていくために、そしてこのかけがえのないホームタウンの人々が笑顔にあふれ、誰もが愛する街でありつづけるために、名古屋グランパスは活動していく、その想いを皆さんと共通の夢として実現していくために「GRAMPUS DREAM」を立ち上げました。



グランパス  
気候チャレンジ



グランパス  
まちづくりアクション



グランパス  
インクルーシブ

社会連携活動を様々な企業や

地域の皆さまとともに実現



● アクティビティA  
共創/協働事業

企業の皆さまとの共同事業を実施したり、社員や地域の皆さまとともに共創セッションを実施して継続的にサステナビリティ施策を実施いたします。

【事例】

- [GRAMPUS CARBON NEUTRAL Action with TOYOTA]



● アクティビティB  
クラブの行う社会連携事業や  
若手育成との連携事業

GRAMPUS DREAMの3テーマに沿った様々なクラブ主体の活動を企業の皆さまとともに実施します。

また、未来のプロ選手を志す小中高生が切磋琢磨している「グランパスアカデミー」の活動にも連携いたします。名古屋・愛知をより住みやすく、より夢をかなえられる街に様々な企業の方とともに実現してまいります。

【事例】

- 児童養護施設等への試合招待、病院慰問、スポーツイベント、学校での各種活動などの社会連携活動
- グランパスアカデミーの活動や地域の指導者講習等の次世代育成活動



協賛金の一部は、  
グランパスアカデミーの育成支援にも充当

名古屋グランパスは GRAMPUS DREAM の想いを継続し、  
次世代につないでいくために、  
共に夢を実現していく地域企業の皆様を募集いたします



特設サイト